



部屋に入り、窓のカーテンを引いて息を呑んだ。  
そこに広がる夕焼けの幻想……………

黄昏(たそがれ)迫る街並み、真紅に染めた雲がこれをいとおしく包み込み、夜の世界へと妖しく誘(いざな)う。その向こうの太陽は、まさに今、マニラ湾の水平線上をさまよひ、ためらいながら今日の日に別れを告ようとして

いる。  
  
マニラ滞在時には利用しているホテルから、こんな景色が見られるなんて。  
いつもより早めの帰宅で、タイミング良くちょうど日没時間になっていたことはある。  
でも、いくら、この時間に合わせても、こんな夕焼けには滅多に遭遇するものではない。  
二度と来ないかもしれないこのめぐり合わせに、夢中になってシャッターを押し、そして暫しの感慨に浸った。